



2025 年 9 月 30 日

各 位

SE ホールディングス・アンド・
インキュベーションズ株式会社
代表取締役社長 速 水 浩 二
(スタンダード・コード 9 4 7 8)
問 い 合 わ せ 先
執行役員経営企画部部长 松 村 真 一
T E L 0 3 - 5 3 6 2 - 3 7 0 0

【SE プラス】2025 年入社の新人 IT エンジニアに聞いた 「IT エンジニアの内定期間学習」アンケート調査結果発表

当社グループ子会社である株式会社 SE プラス(本社：東京都千代田区 代表取締役 村田 斉)は、
新人研修期間中の IT エンジニア 107 名に対し、「IT エンジニアの内定期間学習」に関するアンケ
ート調査を実施致し調査結果を発表いたしました。

詳細につきましては、添付しました同社プレスリリースをご参照ください。

◆本件に対するお問い合わせ先

株式会社 SE プラス 広報担当

電話番号：080-4654-6199

メールアドレス：pr@seplus.jp

◆IR に関するお問い合わせ

SE ホールディングス・アンド・インキュベーションズ株式会社

経営企画部経営企画課

TEL 03-5362-3700

お問い合わせ先 - SE Holdings and Incubations Group (sehi.co.jp)

以 上

【調査リリース 2025】新人 IT エンジニアの 82%が「内定期間中の学習はしておくべき」と回答 | 企業が取り組むべき内定者教育とは

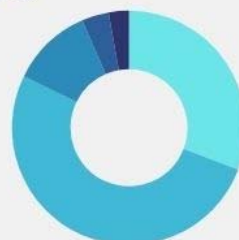
新人研修期間中の IT エンジニアに対し、内定期間中の望ましい学習内容や方法などアンケート調査を実施いたしました

2025年入社の
新人ITエンジニアに聞いた

ITエンジニアの内定期間学習 アンケート調査結果

2025

SEplus



IT 教育会社である株式会社 SE プラス（所在地：東京都千代田区、代表取締役：村田 斉、以下当社）は、新人研修期間中の IT エンジニア 107 名に対し、「IT エンジニアの内定期間学習」に関するアンケート調査を実施致しました。調査結果を以下に発表いたします。

■ 調査背景

IT エンジニアへの大学等新卒就職者数は 3 年連続で増加しています。中でも、文系を含む理系以外の学部出身者は増加しており、2015 年に理系出身者の割合を超え、2024 年には**新卒 IT エンジニアの 62.2%が理系以外の学部出身者**となりました。

※参照：ヒューマンリソシア株式会社「IT エンジニア新卒就職動向レポート」
https://corporate.resocia.jp/info/news/20250609_it_newgraduate

IT 人材不足を補うために、多くの企業で出身学部や経験にかかわらず IT エンジニアの新卒採用が強化されている現在、育成方法についても時代や状況に合わせて検討する必要があります。

そこで当社では、**内定者教育**に着目し、新人 IT エンジニアに対し内定期間の学習に対するアンケート調査を実施いたしました。

■調査概要

調査主体：株式会社 SE プラス

調査対象：2025 年度入社の新入 IT エンジニア 107 名

調査実施時期：2025 年 5 月 30 日～6 月 3 日

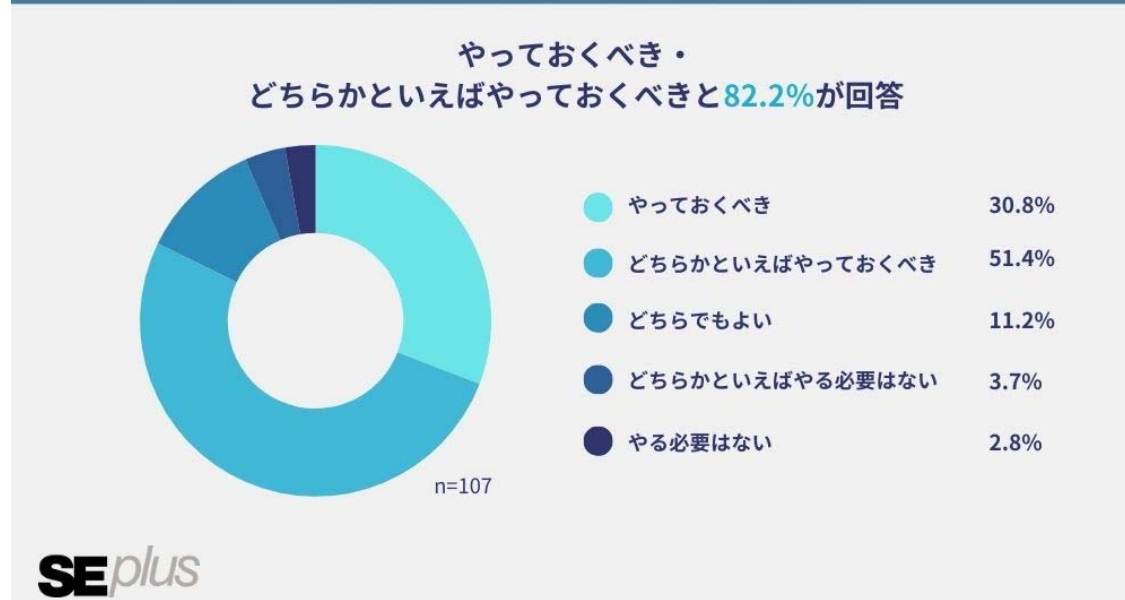
■調査結果サマリー

1. 新人 IT エンジニアの 82%が「内定期間中の学習はやっておくべき」と考えている
2. IT 未経験者の 60%が、新人研修カリキュラムについていくのに「とても苦労した/苦労している」と回答
3. 内定期間中にやっておくべき学習内容圧倒的 1 位は「IT 用語や仕組みなどの基礎知識」
4. 人気の学習方法 1 位は「e ラーニングなど、オンラインで学べるもの」

■調査結果

1.新人 IT エンジニアの 82%が「内定期間中の学習はやっておくべき」と考えている

内定期間の学習について、新人研修受講中の今どのように考えるか



新人研修期間中の IT エンジニアに、内定期間中の学習についてどのように考えるか聞きました。やっておくべき 30.8%、どちらかといえばやっておくべき 51.4%（合計 82.2%）と、**8 割以上の新人が内定期間中の学習はやっておくべきだと考えている**ことが分かりました。

これは、昨年度の結果*よりも **5.3 ポイント上昇**しており、内定期間の学習を重視する傾向がさらに強まった結果となりました。背景としては、新人研修の内容の高度化や、入社前に期待される即戦力化へのプレッシャー、早期キャッチアップの重要性に対する認識向上などが考えられます。

内定期間中の学習を「やっておくべき」「どちらかといえばやっておくべき」と回答した方の理由としては、以下のように「**基礎知識があることで理解がしやすくなる**」「**自信やモチベーションにつながる**」といった理由が多く挙げられました。

▼内定期間中の学習を「やっておくべき」と考える理由

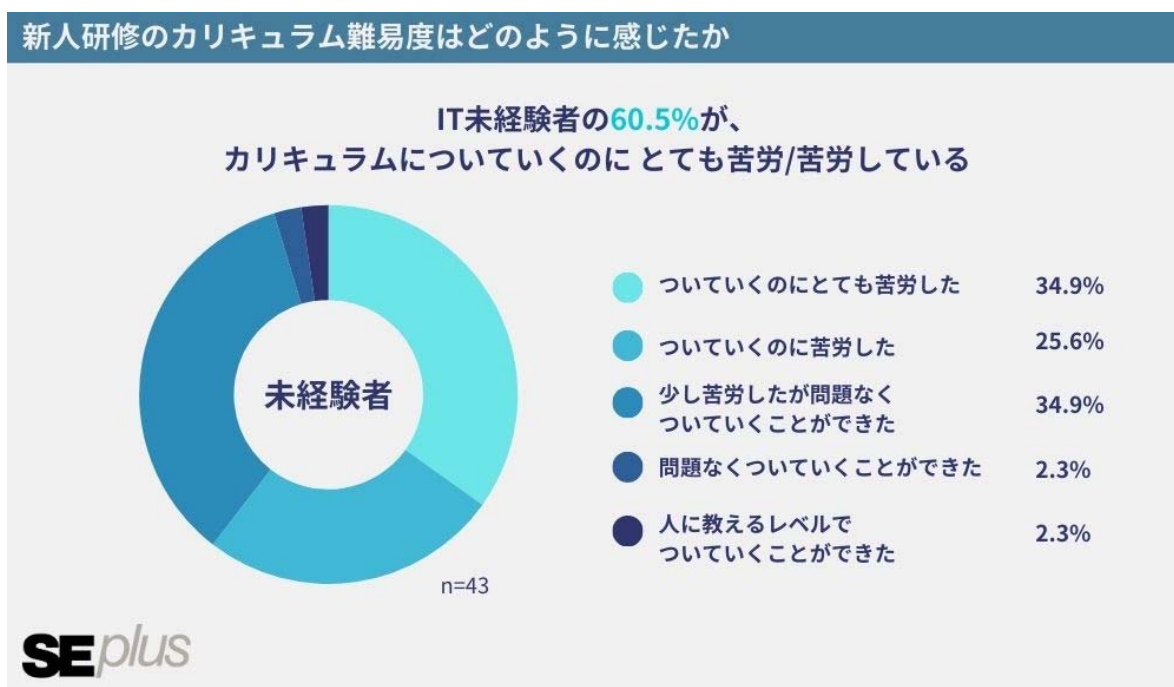
- ・すでに知っている言葉と、初めて聞く言葉では理解のしやすさや記憶の残り方に差が出るため
- ・ただただ研修についていくのが大変だから
- ・未経験で多くの専門用語を覚えるのは非常に苦しいから
- ・少し知識があるだけで自分の自信に繋がる
- ・知識があると人に教えられることができるので自分の力になると思う

逆に、内定期間中の学習を「やる必要はない」と回答した方の理由としては、以下のように「**研修で十分理解が可能だと思う**」「**学生のうちにしかできないことに時間を使うべき**」といった理由が挙げられました。

▼内定期間の学習「やる必要はない」と考える理由

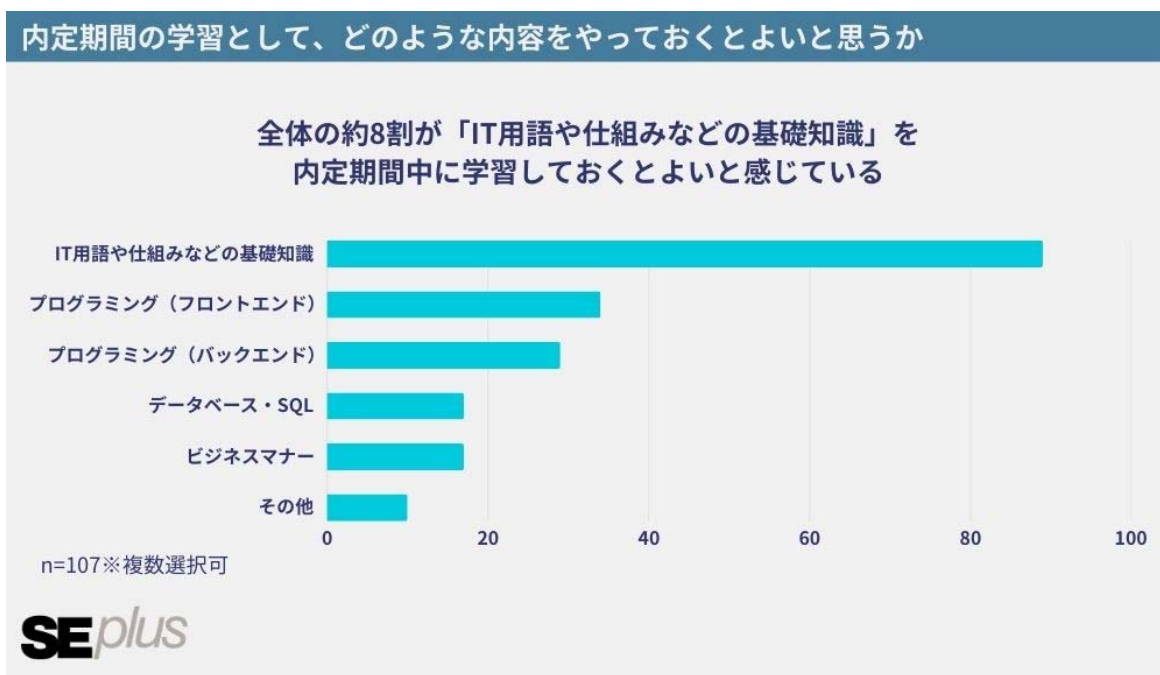
- ・やるに越したことはないが、できれば卒業前は学生にしかできないことをやった方が良いと思うため
- ・研修で十分理解できるため事前にやっておかなくても問題ない
- ・学生時代の時間のほうが貴重だと思うから
- ・自主学習では限界があるから

2.IT 未経験者の 60%が、新人研修カリキュラムについていくのに 「とても苦労した」「苦労している」と回答



IT 未経験者に新人研修のカリキュラム難易度について聞きました。
「ついていくのにとても苦労した」34.9%、「ついていくのに苦労した」25.6%（合計 60.5%）という結果になり、**未経験者の半数以上が研修カリキュラムについていくのに苦労を感じている**ことが分かりました。

3.内定期間中にやっておくべき学習内容の圧倒的 1 位は「IT 用語や仕組みなどの基礎知識」

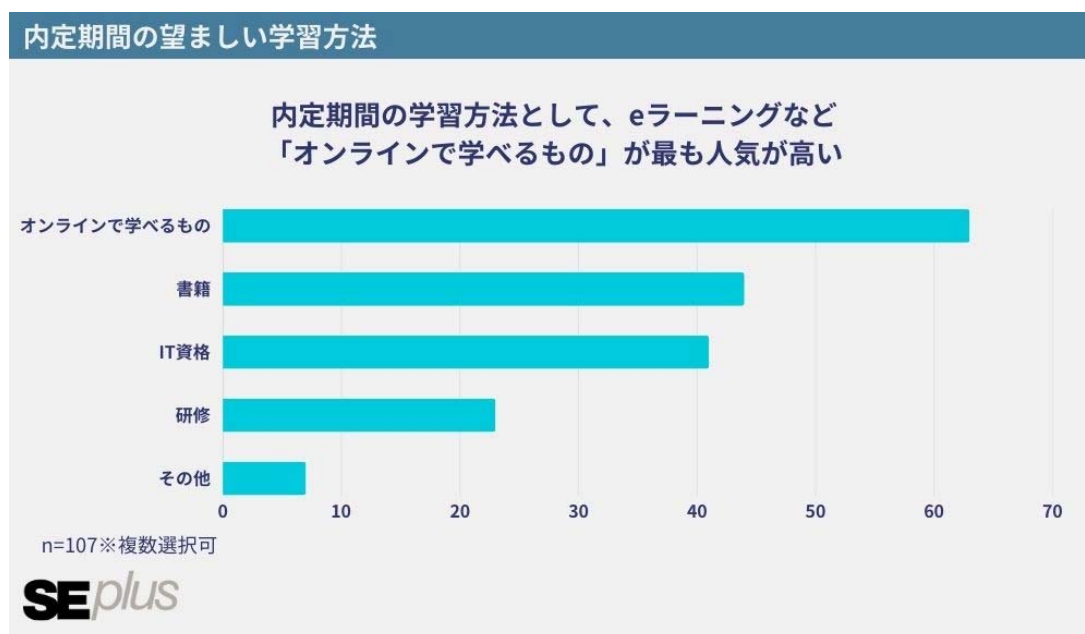


内定期間中にどのような内容を学習しておくと感じるかを聞きました。

「IT 用語や仕組みなどの基礎知識」については 8 割以上（84%）の方が内定期間中に学習したほうが良いと回答しており、昨年と同様圧倒的な 1 位でした。ついで 2 位プログラミング（フロントエンド）、3 位プログラミング（バックエンド）、4 位データベース・ビジネスマナーという結果になりました。

調査 1.の内定期間中に学習をするべき理由として、「基礎知識があることで研修の理解がしやすくなる」といった意見が多く見られたため、「IT 用語や仕組みなどの基礎知識」が上位になったと考えられます。

4.人気の学習方法 1 位は「e ラーニングなど、オンラインで学べるもの」



内定期間の望ましい学習方法は「e ラーニングなど、オンラインで学べるもの」が 60%で 1 位、ついで 2 位書籍、3 位 IT 資格、4 位研修という結果になりました。

昨年度の結果*同様、学生生活を優先しながらも、個人のペースで学習を進めやすい学習方法が人気でした。

ただ、昨年度の結果*と順位は変わらないものの、割合は下記のとおり変化しています。

-オンラインで学べるもの：+3.5 ポイント

-書 籍：-6.0 ポイント

-IT 資格：+11.9 ポイント

-研 修：-0.8 ポイント

IT 資格を選択している人の割合が大幅に増加しており、証明できるスキルがより一層重要視されるようになっていきていることが分かります。現在、経済産業省でも、スキルベースの人材育成に向けた取組を進めており（※参照：経済産業省「Society 5.0 時代のデジタル人材育成に関する検討会 報告書」

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/dxjinzaireport_summary_202505.pdf）、企業の内定者教育では、今まで以上に資格取得支援に力をいれていくことが重要になってくると考えられます。

*2024 年内定期間学習の調査リリース

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000058.000080678.html>

■まとめ

今回の調査で、新人研修を経験した 8 割以上の新人エンジニアが、内定期間中の学習はやっておくべきと感じていることが分かりました。

この結果から、内定者教育として、資格取得に向けた勉強など少しでも IT に触れる機会を作っておくことが、より効果的であると考えられます。

内定者時代の学習が自信やモチベーションアップにもつながるという意見からも、内定者教育は、各企業にとって今まで以上に重要な項目になるのではないのでしょうか。

お問い合わせ先

ご取材やご相談などいただける場合は、以下にお願いいたします。

株式会社 SE プラス 広報担当

電話番号：080-4654-6199

メールアドレス：pr@seplus.jp